



1190IC

各 位

2026年6月17日
SMK株式会社

SMK・宇陀市・山田養蜂場が包括連携協定を締結

音声分析技術と機能性表示食品を活用した健康コホート研究を宇陀市で開始



SMK株式会社（代表取締役社長：池田靖光、以下「SMK」）、奈良県宇陀市（市長：金剛一智、以下「宇陀市」）および株式会社山田養蜂場本社（代表取締役社長：山田英生、以下「山田養蜂場」）は、地域住民の健康づくりおよび健康寿命延伸に資する取り組みを推進するため、2026年6月17日、包括連携協定を締結しました。

本協定に基づき三者は、宇陀市民を対象に、脳の健康維持をサポートする機能性表示食品の提供と音声によるあたまの健康度を分析する技術を組み合わせた健康コホート研究（地域住民を継続的に追跡し、健康状態の変化と要因を分析する研究）を実施します。健康関連データを継続的に取得・分析することで、地域住民の健康づくりに役立つ知見の創出と、自治体・企業が連携する持続可能な健康づくりモデルの構築を目指します。

少子高齢化が進む中、自治体には健康寿命の延伸や住民の健康増進、社会保障費の適正化に向けた実効性ある施策が求められています。一方、企業においても、健康関連サービスや商品の価値を高めるため、実社会における活用データやエビデンスの蓄積がますます重要になっています。

こうした背景のもと、三者はそれぞれが有する技術・研究知見・地域基盤を持ち寄り、地域に根差した新たな健康づくりの取り組みを共創するため、本協定を締結しました。各者の主な役割・特徴は以下のとおりです。



・宇陀市

「健幸都市（ウェルネスシティ）」の考え方のもと、市民の誰もが健康で幸せを実感できるまちづくりを推進しています。

・SMK

発話音声の特徴量から、あたまの健康度を分析する技術の社会実装を推進しています。

・山田養蜂場

ローヤルゼリーや蜂蜜などのミツバチ産品の研究開発から製造・販売を手掛け、機能性表示食品等を通じて、人々の健康をサポートしています。

協定における主な取り組み

- 地域住民を対象とした健康コホート研究の実施（三者）
- 機能性表示食品の試供品提供と健康維持効果の測定（山田養蜂場）
- 音声分析技術を活用した健康データの収集・分析（SMK）
- 健康関連データの継続取得による知見の創出（SMK・山田養蜂場）
- 研究参加者の募集および実施環境（会場・広報）の提供（宇陀市）
- 健康づくり施策への活用可能性の検証（三者）
- 産官連携による地域課題解決モデルの構築（三者）

当社は、本研究を通じて得られた知見を活用し、自治体における健康づくり施策や企業の健康関連サービスの発展に貢献するとともに、音声分析技術を活用した新たなヘルスケアソリューションの社会実装を推進してまいります。

[お問い合わせはこちら](#)